

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372201067
事業所名	グループホーム若竹

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目: 2) 町内会に加入している。回覧板は入居者と共に隣に持って行き、子ども会や小中学校の廃品回収に協力している。地区の敬老会に参加したり公民館で開催された文化祭を見に行ったり、近くの公共施設に出かけて地域との交流を図っている。毎月、傾聴などのボランティアを受け入れている。散歩の際に立ち寄り近くの喫茶店では馴染みになっている。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目: 3) 会議は年6回開催している。今年度はメンバーが入居者と共に、おやつ作りや散歩に参加して、入居者の日常やホームの活動の理解を深めた。メンバーから地域の情報を頂いてホームの活動に役立てている。外部評価の結果報告を行ない、この中で目標達成計画の取組や家族アンケートに対して職員が話し合った結果を報告、改善策を示してサービスの向上に繋げた。	評価
重点項目	市町村との連携(外部評価項目: 4) 市の担当者には日頃から問い合わせ、相談、報告を行っており、何かあれば協力しあう関係を築いている。問題を抱えたケースで地域包括支援センター、市高齢福祉課と連携して対応し、入居に至った例がある。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目: 6) 家族の来訪時には積極的に声をかけ何でも言ってもらえるような雰囲気づくりをしている。入居者の生活状況を文書で伝え、健康状態のほか日常の様子やホームの行事の報告、今後の予定を伝えている。家族アンケートの意見については職員間で話し合っ改善に努めている。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×				

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。